

一般質問



久枝
議員

運動公園改良事業の市長任期内完成について

質 過去に市長は改良工事を24年度からの振興計画に組み入れ、野球場を兼ねた施設として整備すると表明され、新聞でも29年度完成を目指しているとの報道されている。25年度の当初予算に測量調査設計等委託費が計上され、その後は改良工事も順調に進んでいくと思っていたが、今福地域スポーツ施設を先行して整備することが決定されている。運動公園改良事業は、市長の任期中に是非とも完成させてほしい。市長の意気込みを明確に聞きたい。

答 直ちに市民運動公園の改良事業を行う計画でしたが、運動施設利用の継続性を考慮し、野球場と多目的広場を兼ね備えた今福地域スポーツ施設を優先して整備することに計画を変更いたしました。市民運動公園の整備に関しては、25年度に地形測量を終えており、今後関係団体等と協議を重ね、どういう施設配置にするかなどの基本計画策定に取り組んでまいります。今福地域スポーツ施設整備の進捗等を見ながら、同施設

の完成の後には市民運動公園の改良事業に取りかかれるよう取り組みを進めます。

東部工業団地から産業団地への方向転換について

質 先に新潟県見附市にある新潟県中部産業団地を行政調査した。当団地も開発当初は工業団地として誘致活動を開始したが、バブル崩壊後は製造業の誘致が進まないことから、広く多様な業種を誘致しようと産業団地と変更し、2年後に7社、25年には50社の誘致を達成している。本市の東部工業団地も産業団地への方向転換を図るべきだと思うが、市長の考えを伺いたい。

答 企業誘致に関しては、県との情報交換を行いながら積極的に取り組んでおります。産業団地への転換のご提案ですが、国の産業センサスによりまずと製造業の付加価値額が他の産業と比較して優位であるとの結果が公表されています。ご指摘のとおり製造業以外の産業を早く誘致して雇用の場を確保することも選択肢としてはあると思いますが、まずは製造業による雇用の場の創出ということを目指したいと考えます。

一般質問



川下
議員

胃がんリスク検診の導入について

質 胃がんは男女ともにがんによる部位別死因の上位にある。この胃がんの発生に非常に強い関連を持つているといわれているのがピロリ菌である。現在では慢性胃炎の段階からピロリ菌の除菌を保険適用で行うことができるようになった。一般的にもピロリ菌の名前も浸透してきているが、現時点では集団検診ではこのピロリ菌検査を受けることができない。そこで集団検診での胃がんリスク検診の導入を提案したい。導入によりピロリ菌の早期除菌、治療が行われ、胃がん患者の減少と医療費の大幅削減を期待できるが市の考えはいかがか。

答 胃がんの検査項目については、厚生労働省の指針に基づき実施しており、集団検診ではピロリ菌の検査を行っておりません。リスク検診について集団検診の委託事業者に問い合わせてみましたが、体制が整っていないため現在のところは集団検診では実施できないとのことでした。しかしこの胃がんリスク検診の導入は有効な手段であると考えます。県

下の担当課長会議や市長会等でしっかりと議論し、要望項目として取り上げ、集団検診で可能となるような取り組みをしていきたいと思えます。

メディア教育への取り組みと教育現場への支援について

質 市ではメディア教育をどのように実践しているのか。対象、頻度と内容について簡潔に答えて頂きたい。

答 携帯電話等の利用については、道徳の授業のほか総合的な学習の時間、特別活動、長期休業前などの生徒指導において実施しております。

質 情報やネットコミュニケーションにより悩みを持つてしまった児童生徒の支援体制はどのようなになっているのか。

答 組織的に児童生徒の立場に立つて親身に対応するとともに、関係機関や専門家と連携して行っています。

質 教育支援員の役割とその登用数の傾向はどうなっているのか。

答 学習理解や集団生活上で配慮を要する児童生徒への支援を行います。17年度2名から順次人数を増加し、25年度が19名、26年度が17名です。

質 教育支援員の登用数が昨年度より減っている。十分な教育ができるとお考えか。

答 学校や就学指導の実態を考慮しながら増員や配置について検討していきたい。